

【産寧坂/柳町】三光院の子育て観音への参道から名付いた【ようやと坂/坊新田町～栄町】参勤交代路。だらだらと続く坂道に敵が疲れてしまうことから、大物タレントが愛称として命名【諏訪坂/井土上町】 荘田神社は信州の諏訪大社からの勧請により諏訪神社と呼ばれ、参道になっていた【東源寺坂/戸鹿野町】遊覧坂完成前は、下川田住民は戸鹿野の田道を通り、東源寺北の坂を登って町へ出た



産寧坂



ようやと坂



諏訪坂



東源寺坂



特集

暮らしの坂

地形から生み出された

沼田のまちにはたくさん坂があります。利根川、薄根川、片品川に囲まれる沼田台地に段丘が連なる地形から、沼田に坂は不可欠で「坂のまち」といわれるほどです。昔は台地の上に住居を構え、下段の田んぼで自給自足をする生活基盤があり、坂によって生活が便利になりました。人回が増えてまちが広がると、交通道路としての坂もつくられました。自動車などの発達により坂を歩く機会が減った

今でも、通学路として利用され、地域に伝わる説話を持つ多くの坂が伝承され親しまれています。数え切れない人々が行き交う姿やまちの移り変わりを見守ってきた沼田の坂。身近で生活に結びついたさまざまな坂の歴史や味わいなどを紹介するとともに、規模などによる学術的価値が高い沼田の河岸段丘、日本に残る美しい風景として期待が集まる「石墨棚田」も特集します。



八幡坂



寺久保坂



遊覧坂



根岸坂

【八幡坂/戸鹿野町】鉄道馬車が沼田渋川間を走っていた明治後期、動かなくなった馬車を乗客が押したという話が残る急坂【寺久保坂/柳町】春を彩る桜スポット。坂の途中の窪に寺があったことから名付いた【遊覧坂/下之町～戸鹿野町】大型バスに乗ると大きく揺れ、揺れながら見物を楽しんでという意味を持つユニークな坂【根岸坂/西倉内町～榛名町】榛名神社周辺を根岸といい、参道になっていた【滝坂/下之町～清水町】駅から長く続く滝坂は沼田の顔。「沼田八景」に選定されている